

# 障害者(児)歯科保健医療の推進に関するアンケート調査結果

## 1. 調査概要

- 対象施設: 令和4年度障害者(児)歯科保健医療推進事業を実施した通所事業所78か所  
(事業所総数333、事業利用率23.4%)
- 実施期間: 令和5年10月17日～10月31日

### 【事業概要】

平成26年度から開始。県内の希望した通所事業所へ歯科医師と歯科衛生士が出向き、歯科健診および歯科保健指導を行っています。

## 2. 調査結果と考察

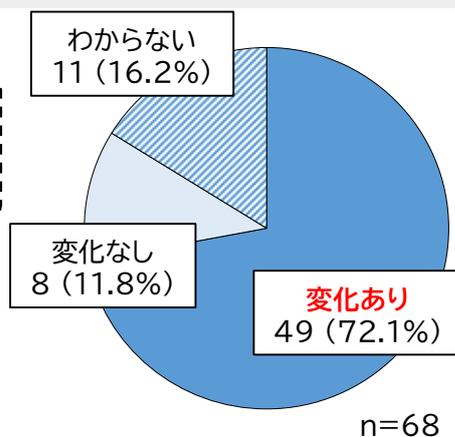
\*回答数 : 68(回答率:87.2%)

### (1). 事業実施後の利用者の歯科保健行動の変化について

年1回の歯科健診・歯科保健指導を実施することで、7割以上の事業所で利用者の歯科保健行動(昼食後の歯みがき、歯科受診)に良い変化がみられています。



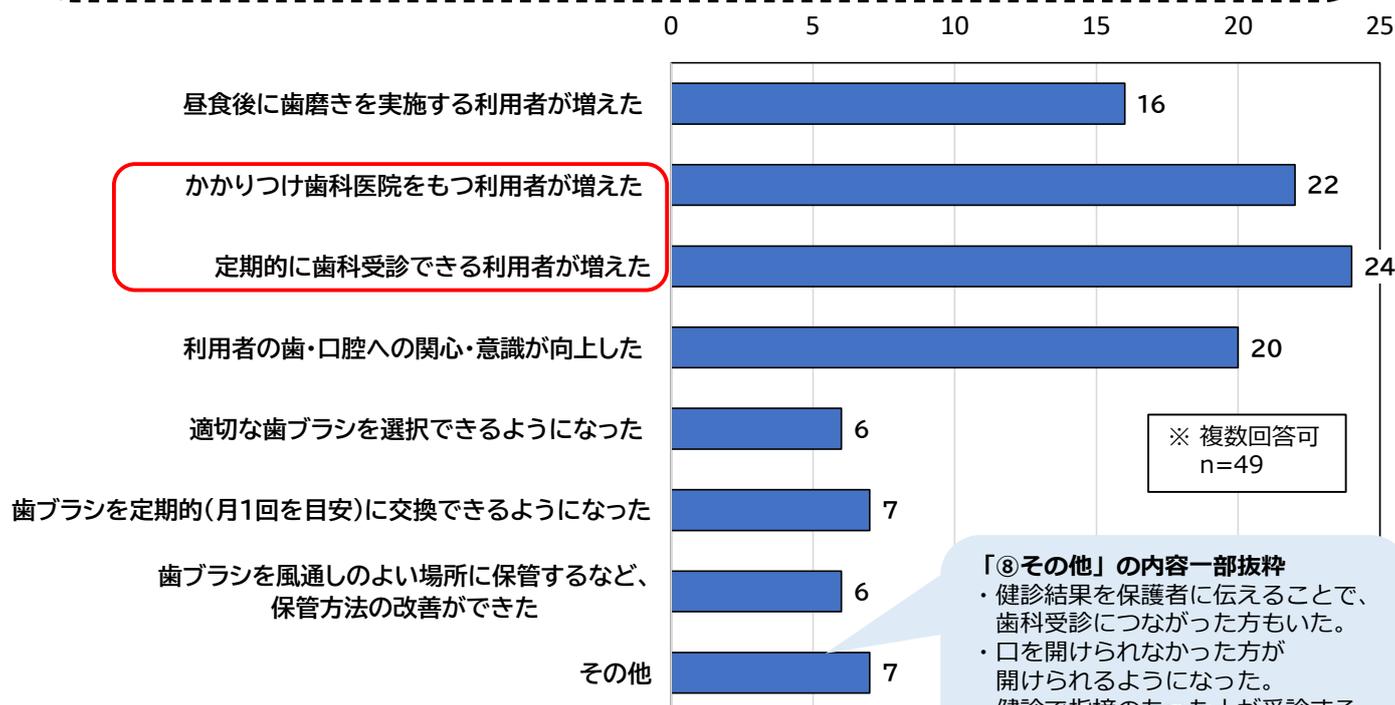
滋賀県健康づくりキャラクター  
しがのハグ&クミ



### (2). 利用者の具体的な変化の内容について

障害の種類や年代による違いはありますが、

- ・ 事業目的である「かかりつけ歯科医院を持ち、定期健診を受ける」利用者が増えています。
- ・ 歯・口腔への意識が向上し、歯磨きをする利用者が増えています。

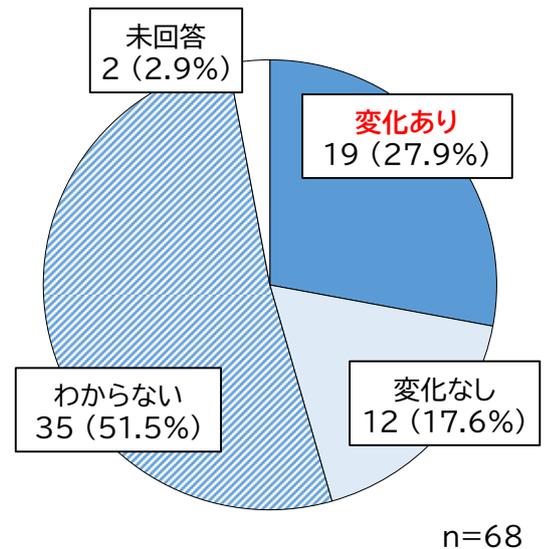


### 「◎その他」の内容一部抜粋

- ・ 健診結果を保護者に伝えることで、歯科受診につながった方もいた。
- ・ 口を開けられなかった方が開けられるようになった。
- ・ 健診で指摘のあった人が受診することが多くなった。 等

### (3).事業実施後の**利用者**の**生活の質**の変化について

- 「変化あり」と回答されたのは3割弱の事業所で、「わからない」が約5割を占めました。
- 生活の質の変化には、歯科保健行動の改善以外の要因も関わるため、一概に「変化あり」とは回答できず、「わからない」と回答した可能性があります。

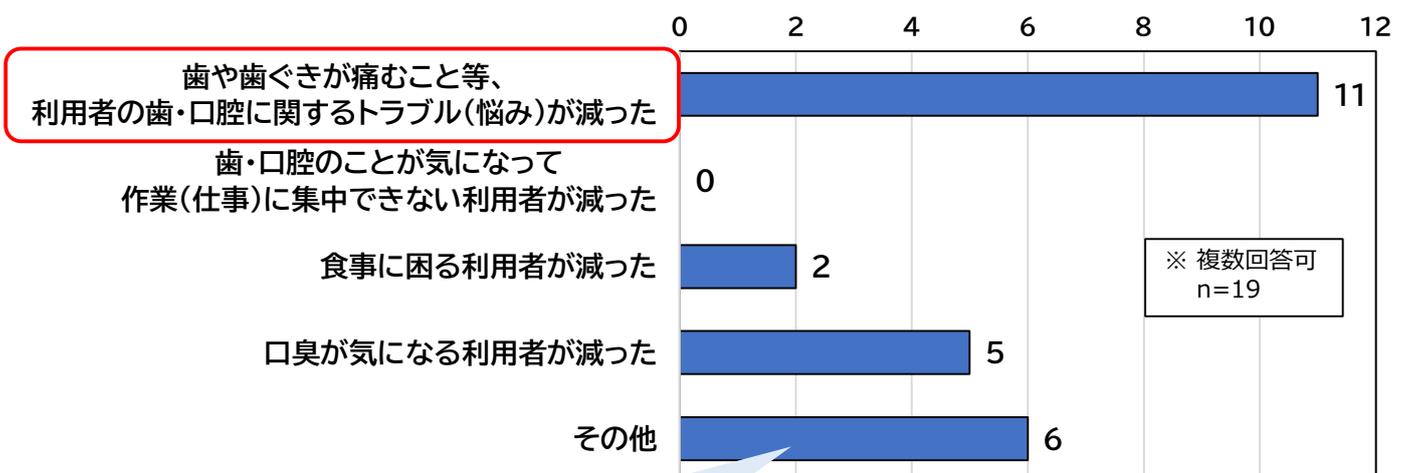


歯科保健指導の様子



### (4). **利用者**の具体的な変化の内容について

- 利用者の歯科保健行動(歯みがき、歯科受診)が改善したことにより、歯・口腔のトラブルが減ったと考えられます。
- 歯科受診に対する拒否が軽減し、歯科受診をしやすくなったことも、本事業への参加による良い影響だったと考えられます。

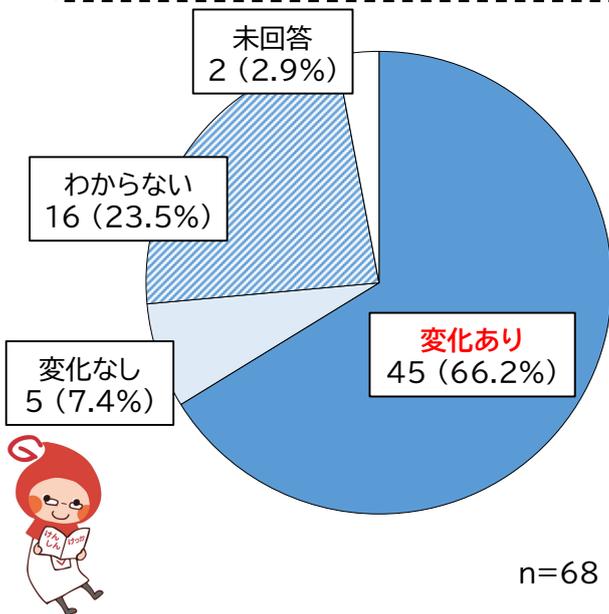


#### 「⑤その他」の内容

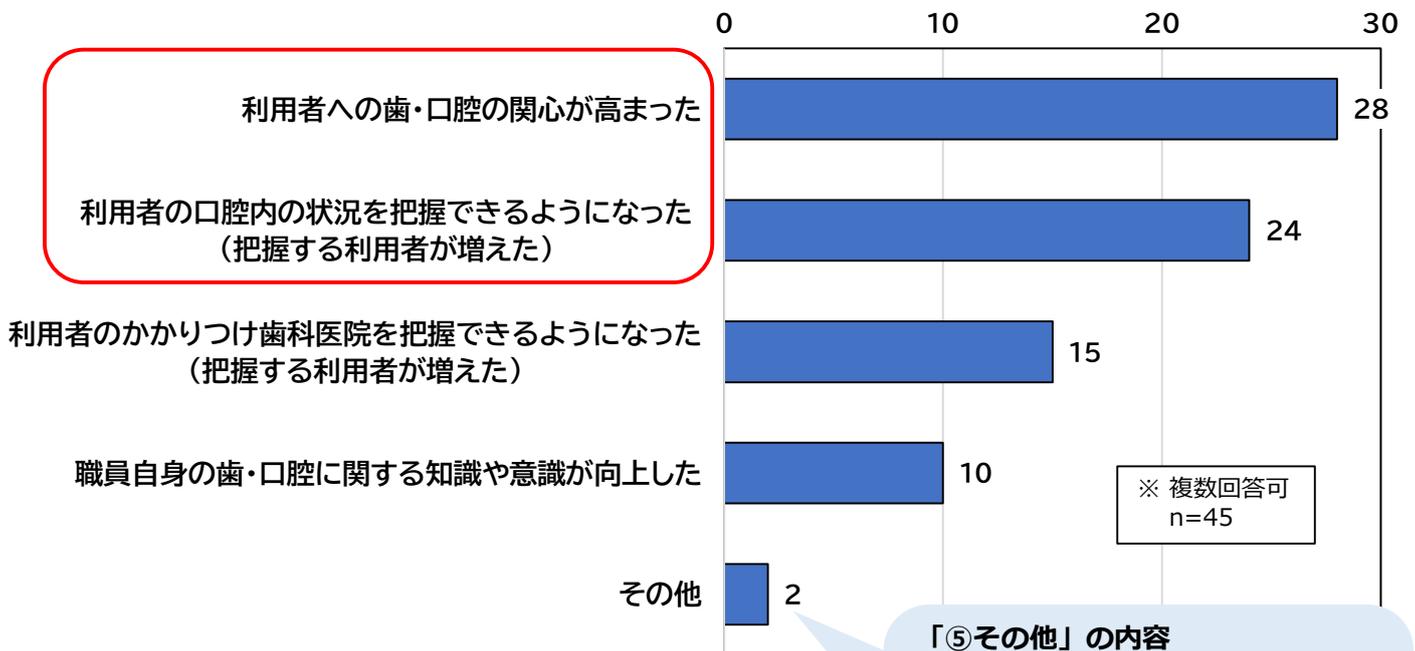
- 昼食後、歯みがきをする利用者が増えた。
- 歯科受診の拒否が減った。
- 「行動」には移せずとも、「意識」できるようになった。
- 歯みがきの仕上げ介助をする人が増えた。
- 歯科通院を再開された。
- 歯科受診することで口腔内に関する意識が高まった。

## (5).事業実施後の事業所職員の変化について

- 6割以上の事業所で「職員の変化があった」と回答しています。
- 毎年実施されている事業所も多いため、職員の意識も向上していると考えられます。



## (6). 事業所職員の具体的な変化の内容について



### 「⑤その他」の内容

- 歯みがきが苦手な利用者に対する支援方法をうかがえたので、職員間で共有し、実践中。
- 利用者の歯磨きチェックする意識がついた。

- 利用者の口腔内の状況、かかりつけ歯科医院を把握できるようになったことは、大きな成果だと思います。
- カルテの準備や当日のサポート、健診結果の集計を通して、職員が利用者の状況を把握することができたと考えられます。
- 事業所職員が歯科専門職からの助言を利用者の支援に活かしていただいている様子もうかがえます。



## (7).事業所による受診勧奨について

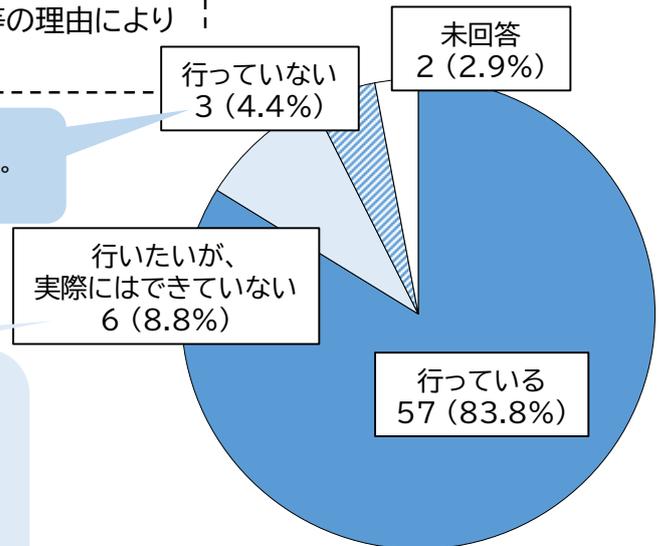
- 8割以上の事業所で、必要な方に受診勧奨されています。
- 一方で、利用者の家庭の事情や経済的な理由、交通等の理由により受診勧奨できない状況があるようです。

### 「受診勧奨を行っていない」理由

- 受診の必要な利用者は家人が気をつけて受診をされている。
- 受診に関しては家族様判断としている。

### 「受診勧奨を行いたいが実際にはできていない」理由

- 家族さんが連れていくことが難しかったり、本人が嫌がったりすることがわかるため。
- お伝えはするが無理には言えない。
- 受診できる歯科が近くになく、通院や受診が困難。
- 本人や家族が決めることでもあるため
- できていない人もいます。経済的な理由。



n=68

## (8).施設における歯・口腔に関する課題について（自由記載）※一部抜粋

- 生涯を通じて歯みがき習慣をつけ、かかりつけ歯科医院を持つことの重要性を市町、園、学校、事業所、歯科関係者等が連携し、啓発を続けていくことが必要です。
- 今後も、障害のある方が定期的な歯科保健サービスを受けられる環境整備が必要です。
- 障害のある方に対応する地域の歯科医療機関の確保、情報提供が必要です。

利用者自身について	事業所・職員等について
<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯・口腔への関心が薄いこと</li> <li>○こだわりが強いため、ブラシの交換が難しい</li> <li>○音+痛みが気になり、なかなか受診できない</li> <li>○痛みや違和感など自分から伝えることが難しく、気づくのが遅れることがある</li> <li>○歯みがきや受診の拒否が見られ、取り組んでいただく難しさがある。</li> <li>○歯がないことで食事をまる飲みされているので、食べ物が詰まり窒息しないか心配。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全員の歯みがきチェックができず、本人任せになっている</li> <li>○（コロナで中止していた）職員の利用者への歯みがき（仕上げ）が再開できていない。</li> <li>○ブラッシングが困難な利用者さんへの対応</li> <li>○歯科医院になかなか行けない方への働きかけ、ブラッシングなど見守りをしたいが体制上難しい</li> <li>○マスクを着用しているので歯の状況が分かりにくい</li> </ul>
家庭等、生活背景について	かかりつけ歯科医院等について
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ご家族が連れて行く方には家庭の都合があり、良いタイミングでの受診が難しい</li> <li>○ご家族で受診に付き添える方がいない場合、難しい。</li> <li>○口腔衛生の必要性をご家族と共に考えていく必要がある。</li> <li>○ご家族の協力がないとその後の受診や治療につながっていない。ご家族への意識付けへどう働きかけるかが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○重度障害者の方の近隣にかかりつけ医がなく、定期的な受診が難しい。</li> <li>○障害のある方々に対して歯科治療がスムーズに行えるようにしたい。</li> <li>○車いすです受診できるところが少なく、近場で探すのに困っているので最近の歯科医院の情報を知りたい。</li> </ul>



事業の詳細や事業報告については  
こちらから▶▶▶

